

【ニュージーランド短期語学留学】

New Zealand 体験記

酒井 貴大（東北公益文科大学公益学部3年）

今回の留学を通して、私自身、人間として成長できたと実感できた。ニュージーランドでは、様々な人種の人が住んでいた。その人の数だけ、色々な考え方や価値観があり、それを知ることで自分にもプラスの側面があり、刺激をたくさんもらった。

ニュージーランドに着いてまず感じたのが、とても暑いということだった。先生から聞いていたが、まさかここまでとは思っていなかった。庄内の厳しい冬を体験していたので、なおさら暑く感じた。慣れるまで、3日間くらい必要とした。そして、ホストファミリーと対面した。私の迎えには、ホストマザーの **Vanda** と娘の **Diana** が迎えにきてくれた。

二人はとてもフレンドリーで、日本がとても好きだった。実際に旅行で、東京の原宿や渋谷を訪れて、ショッピングを楽しんだといていた。私はたくさん日本のことを話した。カメラに地元の写真や庄内の色々な景色を撮っていたので、それを見せてあげた。二人はとても興味津々な様子だった。その中でも、一番聞かれたのは東日本大震災のことだった。

私の地元は福島県なので、尚更心配された。原発問題や自然エネルギー問題など話が飛躍し深い話をたくさんした。日常会話は、問題なく意思疎通ができたが、専門的な会話になるとどうやって英語にしていかわからず思うように伝えることができなかった。もっと英語を勉強して、スムーズに伝えたいと感じ、自分の英語力を上げるモチベーションになった。色々な話をしているうちに、私がホームステイする家に着き、シャワーの使い方や朝食、昼食のことなど、丁寧に細かく説明してくれた。ホームステイ先にはベトナム人の **Hengury** という高校生の男の子もホームステイしていた。すぐに仲良くなった。みんなでいっしょに夕食を食べて、その日は終了した。みんな優しく、私は本当に恵まれたと思う。3週間楽しく過ごすことができた。

毎日の授業はワイカト大学で学んだ。ここでの3週間の授業は本当に自分にとってプラスになることばかりで、自分の英語力をアップすることができたと感じた。

初めは、先生のネイティブな発音を聞き取るのが大変だったが、1週間もするとわかるようになり、自分から先生に積極的に英語で質問したり、英語で日本やニュージーランドの文化を話したり楽しく会話をすることができた。午前中は主に、ライティングとリスニングで、午後はスピーキングとリーディングという授業だった。この授業で色々な英語のボキャブラリーや言い回し、英語の感嘆詞の正しい使い方を学び、実り多いものになった。

そうやって刺激のある毎日を過ごしていき、3週間が過ぎた。最後の、フェアウェルパーティーでは、一人一人に修了証が手渡された。また、ホストファミリーにお礼のスピーチや出し物を送った。スピーチの原稿を考えるのは大変だったが、ワイカト大学の先生に

添削してもらい、何とか形にすることができた。このとき感じたことはやる気があればスピーチも作成することができたので、何事もチャレンジ精神を持って、物事に取り組もうということである。出し物はラジオ体操を披露した。公益大のみんなで放課後集まって、たくさん練習した。You Tubeなどでラジオ体操を見て、覚えて研究した。せっかくなので、ホストファミリーや先生達にも実際にラジオ体操をやらしてもらおうと思い、英語でラジオ体操の説明を作成した。発表の時は、盛り上がるかどうか不安だったが、みんなで盛り上げて全員でラジオ体操を成功させた。この時、かなりの達成感を得ることができた。和やかにフェアウェルパーティーを終えることができた。本当に思い出深い3週間であったと感じた。

私は、この3週間で多くのことを学ぶことができたと感じている。特に、ホストファミリーにはたくさんお世話になった。私は、ホームステイをするのが生まれて初めての体験だったので、本当に貴重な体験だったと思う。日本人の私を快く迎えてくれて、まるで自分の本当の家族のように接してくれたので、かなり過ごしやすかった。

公益大のみんなや他大学生のみんなにも感謝したいと思う。やはり、慣れない環境にいると少なからず、ストレスも段々溜まってくる。その中で、愚痴を言い合ったり、ニュージーランドで苦勞した事を話せる友達は本当にありがたいと感じた。慣れない異国の地で、色々な体験や学生生活、買い物、同じ時間を共有できたことを糧にして、日本に帰っても、この気持ちを忘れずにしていきたいと強く思った。

こうやって体験記を書いて、思い返してみると、その気持ちは一層強くなる。本当にかげがえのないものであった。もっとニュージーランドにいて、更に、英語力や、色々な人々と関わっていたいと思った。

この貴重な体験を契機に、日本に帰ってからは、自分から様々なことにチャレンジしていこうと強く感じた。受身の状態、何もせず、ただ待っていてもチャンスはやってこない、自分からチャンスを掴みにいかなければならないと留学を通して、一番感じたことだ。

留学を通して一回りも二回りも成長できたと実感している。英語が、もっと大好きになった。とても忙しかったが、輝いていた3週間だったと思う。これを読んでいる人たちにも是非ニュージーランドにいて留学を体験し、素敵な思い出を作してほしいと心から思う。

私は将来、お金を貯めて、またニュージーランドに行きたいと思う。大学生のときにあったときはまた違った発見や出会いがあると思う。このような機会を与えてくださった大学には本当に感謝している。最高の時間をありがとうございました。